

伝統工芸品江戸べっ甲の べっ甲端材を有効活用するための デザイン支援

地域技術支援

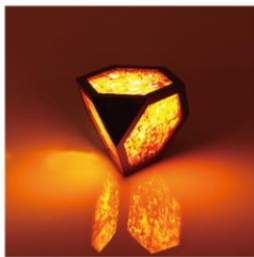
城東支所 上野 明也
TEL 03-5680-4632

特徴

東京都指定伝統工芸の「江戸べっ甲」を作る東京都べっ甲組合連合会より、貴重なべっ甲材料を有効活用するための技術開発依頼を受けて、10年間にわたり開発してきた様々な新商品を紹介いたします。

東京都の伝統工芸品に指定されている「べっ甲細工」の原材料であるタイマイはワシントン条約により平成4年12月31日をもって輸入禁止となり、都内べっ甲産業関連企業は原材料確保の道が閉ざされ、経営が厳しい状況になっています。そのため、原材料とべっ甲の端材の利用技術を早急に進めることにより、我が国の歴史文化において重要性を持つべっ甲製品・技術の継承を図る必要があります。本研究は貴重なべっ甲材料を有効に利用するための技術開発研究として実施したものです。

研究では技術開発にとどまらず、その技術を活用したプロダクトデザインを実施しました。様々な新商品を毎年テーマを決めて開発してきました。本研究にて開発した技術および新商品を年度ごとに紹介します。



2011年度
ランプシェード



2012年度
シルバージュエリー



2013年度
コースタースタンド



2014年度
ランプシェード改



2015年度
磁石入り眼鏡



2016年度
アンプ&スピーカー



2017年度
3次元AMヘアブラシ



2018年度
ウクレレ



2019年度
ネイルアート



2020年度
シリコンプレスレット

従来技術に比べての優位性

- 捨ててしまうべっ甲端材の有効活用方法
- 新たなべっ甲製品の提案による産業の活性化
- 切削モデリングマシーンや3次元AMなど新たな技術を伝統産業に活用することにより新たな商品、価値を創造

今後の展開

- 従来の伝統産業の技術への本研究成果の活用
- 新商品の発売、事業化
- べっ甲業界と他業界とのコラボレーション

研究成果に関する文献・資料

- [上野明也：研究成果発表会要旨，P.141（2013）](#)
- [TIRI NEWS 2011年11月号，P.7](#)

研究員からのひとこと

デザインを活用することにより自社技術を活用した新商品の開発が可能となります。

そして、新しい商品から新しい生活を提案することもデザインの重要な役割です。コロナ禍での商品開発にも前向きに取り組んでいます。